

案 件：第 1 回お互いさまのまちづくり協議会 議事録

日 時	令和2年7月7日（火）午前10時30分～午前11時50分
場 所	豊橋市役所 東館12階 東123会議室
参 加 者	委員 14名 アドバイザー 1名 事務局 長寿介護課

1 議事

(1) 第2期アクションプランの計画期間、目標等について

- ・事務局より説明

－ 意見 －

- ・委員 : 目標は見える化した方が良い。担い手がおらず、負担も大きいため、自治会や単位老人クラブは減っている。現状の130団体でも足りないと思う。もっと増やす仕組みづくりが必要。ボランティアで立ち上げるのは難しい時代であり、活動者への金銭的な支援も必要だと思う。
- ・委員 : 計画期間と構成については案の内容で良いと思う。目標は案3が良いと思う。目指すべき姿は数値化できない。
- ・委員 : この協議会は居場所の数を増やすのが当初の目標だったと思う。
- ・委員 : 活動は小さな地域でバラバラでやっているのが実情。数字だけでなく目指すべき姿が大事だと思う。ただ、評価をするうえでは数字も必要。数値目標に併せ目指すべき姿も目標に据えてはどうか。
- ・委員 : 活動団体がない校区もある。すべての校区に団体を設けることを目標にすることも必要ではないか。
- ・委員 : まち中と郊外で事情が異なる。目標を（まち中と郊外で）一律とするのもどうかと思う。町単位で活動ができる環境づくりが必要。
- ・委員 : このままでは老人クラブの会員数も減ってってしまう。自治会の協力が必要。
- ・アドバイザー : 目標は数字で見える化しないと、今後予算を獲得することも難しくなってしまう。思いだけでは予算獲得が難しいのが実情。ただ、案3の目指すべき姿の文言は計画のどこかに入れるべき。また、第2層生活支援コーディネーターの将来像について見据えたプランが必要。目標はガチガチに縛ると、自らの首を絞めることになるため、ある程度柔軟なものとした方が良いと思う。
- ・事務局 : いただいたご意見を踏まえ10月開催予定の第2回協議会で案をお示しする。

(2) 第2期アクションプランの取り組み項目について

- ・事務局より説明

－ 意見 －

- ・委員 : 新型コロナの影響で活動できていない団体が多数ある。現在の団体の状況を掴むことが必要。把握したうえで支援につなげるべき。
- ・アドバイザー : （市の取り組み項目として）支え合い活動の概要版ができると良い。民間企業との連携では、まずは商工会議所に相談すると良い。情報提供ではフ

リーパーパーをもっと活用すべき。若年層には効果的な媒体。また、コロナ禍の中、記者も自ら情報を取りに行きづらくなっていることが想定され、逆にこちらから情報を持ち込めば喜ばれるかもしれない。

- 委員 : 総務省が ICT 民生委員について提言している。役所のどの部署が担当になるかわからないが、こういったことも進めていくべき
- 委員 : 個人情報に注意しながら、ICT も考慮した計画とした方がよい。

2 その他

- 令和2年度 第2回協議会
令和2年10月19日(月) 10時30分～